

財団法人 日本サッカー協会

平成 22 年度 第 10 回理事会

協議事項

<p>1. 日本代表ナショナルコーチングスタッフの件</p>
<p>1. 日本代表ナショナルコーチングスタッフについて、以下の通り契約を締結したい。</p> <p>監督 : アルベルト・ザッケローニ (Alberto Zaccheroni)</p> <p>コーチ : ステファノ・アグレスティ (Stefano Agresti)</p> <p>GKコーチ : マウリツィオ・グイード (Maurizio Guido)</p> <p>フィジカルコーチ : エウジェニオ・アルバレッラ (Eugenio Albarella)</p> <p>テクニカルアシスタント : ジャンパオロ・コラウッティ (Giampaolo Colautti)</p>
<p>2. ユニバーシアード男子日本代表ナショナルコーチングスタッフの件</p>
<p>(協議) 資料No.1①②</p> <p>ユニバーシアード男子日本代表ナショナルコーチングスタッフについて、以下の通りとしたい。</p> <p>監督 : 大平 正軌 (おおひら まさき)</p> <p>※ 2010 年に J F A サッカー S 級コーチライセンス取得済み</p> <p>期間 : 2011 ユニバーシアード深圳まで</p>
<p>3. 2010 年度公認 S 級コーチ養成講習会判定結果の件</p>
<p>全てのコースを修了し、筆記試験・口頭試験・指導実践・レポート全てにおいて合格したため下記 1 名を公認 S 級コーチとして認定したい。</p> <p>氏 名 : 前田 浩二 (まえだ こうじ)</p> <p>指導チーム : ヴォルカ鹿児島</p> <p>生年月日 : 1969 年 2 月 3 日</p> <p>資 格 : 2008 年 A 級ライセンス</p> <p>指 導 歴 : 2003 年 ヴォルカ鹿児島 選手兼監督</p> <p>2005 年 ヴィッセル神戸 強化ダイレクター・アシスタントコーチ</p> <p>2006 年 ヴィッセル神戸 トップチームアシスタントコーチ</p> <p>2007 年 ヴィッセル神戸 トップチーム兼 U-21 コーチ</p> <p>2008 年 ヴィッセル神戸 トップチーム兼サテライト監督</p> <p>2009 年 ヴィッセル神戸 トップチームヘッドコーチ兼サテライト監督</p> <p>2010 年 ヴォルカ鹿児島 GM 兼ヘッドコーチ</p> <p>※参考 : 現 S 級コーチライセンス保持者数 : 330 名 (上記 1 名含む)</p>
<p>4. 日本サッカー後援会 会員表彰の件</p>

日本サッカー後援会会員として30年在籍した者に対し、本協会として、永年に亘る援助に対する感謝として、以下の通り表彰したい。尚、本表彰制度は2008年より実施している。

- (1) 対象者：17名（参考：2010年 22名、2009年 48名、2008年 101名）
- (2) 表彰内容：①感謝状及び記念楯の贈呈
②2011年度に、日本代表戦1試合ご招待

<参考>日本サッカー後援会からの後援金収入

2004年度 70,000千円（JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各5,000千円）
 2005年度 76,000千円（JFA 60,000千円、Lリーグ・フットサル各8,000千円）
 2006年度 65,000千円（JFA 55,000千円、Lリーグ・フットサル各5,000千円）
 2007年度 64,000千円（JFA 52,000千円、Lリーグ 7,000千円、フットサル5,000千円）
 2008年度 59,000千円（JFA 43,000千円、Lリーグ 5,000千円、フットサル10,000千円、
 こころのプロジェクト1,000千円）
 2009年度 46,000千円（JFA 30,000千円、Lリーグ 5,000千円、フットサル10,000千円、
 こころのプロジェクト1,000千円）

5. 全国クラブチームサッカー選手権大会参加チーム変更の件

第18回全国クラブチームサッカー選手権大会の参加チーム数を従前の24チームから16チームへ変更したい（2011年度から）。

<変更案>

- ・チーム数：24→16チーム

※チーム数減により、競技日程は5日間から4日間に変更となる

カテゴリー	現 状	本件後	備考
① 9地域	18	9	地域代表1チーム
② 国体開催都道府県	1	1	2011年度千葉県
③ 国体開催市町村	1～5	2	2011年度市原市、習志野市
参加チーム数	24	16	

（本件後）

※上記①～③で16チームに満たない場合は、2010年度6月末の加盟登録数の多い順（関東・関西・九州・東海・北海道・中国・北信越・東北・四国）で巡回し輪番とする。
 （2011年度：関東、関西、九州、東海の順）

- ・大会形式：16チームの勝ち抜き方式（1日の試合数：8、4、2、1、計15試合）

削減理由：以下のような各種負担を軽減することにより、近年減少傾向にあるチームの参加意欲を向上させ、大会の活性化を図る。

- ・チームの経費負担

- ・最大5連戦となる選手の負担
 - ・連続休暇を取得せねばならない選手、スタッフの負担
- また、主管都道府県協会の負担軽減（経費負担・運営負担）にもなる。

6. 全国高等専門学校サッカー選手権大会 人工芝使用の件

全国高等専門学校サッカー選手権大会における人工芝ピッチの使用について、以下のとおり定めたい。

1. JFAロングパイル人工芝公認ピッチであること。
2. 2面までの使用を可とする。
3. 1回戦6試合までの使用を可とする。
4. 2回戦以上は天然芝とする。

※大会形式（参考）

- ・16チームによるトーナメント方式 [4日間全15試合]

7. 地域育成審判インストラクター設置の件

1級審判員の数を増やし相互の競争を促すことによって質の高い審判を提供できるようにすること、また、1級審判員が地域や都道府県でも審判活動ができるような環境を整備することも狙いに入れ、2007年度に審判トレーニングセンターを設置し、2008年度から地域において1級審判員審査を実施することになった。その結果、2006年度には120人であった1級審判員は2010年に155人に増やすことができ、地域、都道府県でも積極的に審判活動することができるようになった。

については新しく1級審判員になった審判員の更なる資質向上のため、JFLや各種全国大会に加え、普段の地域、都道府県での審判活動でも指導、支援する地域育成審判インストラクターを設置することとしたい。

また、この審判インストラクター設置により、1級審判員のみならず、審判トレーニングセンターとも連携して、上位2級審判員の発掘・指導も行い、将来の1級審判員ための資質向上を図ることができるようにしたい。

1. 設置 2011年3月
2. 地域別育成審判インストラクター

北海道	木島栄(52)
東北	伊藤力喜雄(53)
関東	<u>上荒敬司(51)</u> 、植村久(60)、遠山昭仁(55、※2)
北信越	谷内浩仁(53)
東海	土本泰(53)、福岡幹男(59)
関西	三宅毅(55)、 <u>辺見康裕(53、※1)</u>
中国	<u>山西博文(47)</u>
四国	河野暁(55)
九州	<u>原田秀昭(51)</u>

注1：（ ）は、年齢と審判インストラクターの級

※1 はS級審判インストラクター、それ以外は全員1級審判インストラクター

※2 は元2級審判員、それ以外は全員元1級審判員

アンダーラインは、元国際審判員

注2：関東、東海、関西は、指導対象1級審判員数が多いため複数名の配置とする

3. 指導対象審判員

(1) 1級審判員 42名(原則2009年、2010年に1級審判員昇級者)

(2) 2級審判員 今後地域審判委員会により指名される

8. 「smart move ～地球にやさしい移動にチャレンジ!～」キャンペーンの件

(協議) 資料No.2

政府が取り組んでいる地球温暖化防止の国民運動「チャレンジ25キャンペーン」の一環として昨年12月より開始した取り組み。「各種移動に関する」エコの啓発活動である。

斯かる件につき、中心となって活動を推進する環境省よりJFAに協力要請があり、「チャレンジ25キャンペーン」への参加と同様、協力したい。

名称：「smart move ～地球にやさしい移動にチャレンジ!～」キャンペーン

愛称：「smart move 移動をエコに。」

概略：二酸化炭素排出量の少ない「移動」にチャレンジするもの。

※生活関連部門の約3割が「移動」に伴う二酸化炭素排出量と言われている。

活動：JFAでは、従来活動より、各種競技会等で実施している公共交通機関の利用の呼びかけ等広報活動をしていることから、特別な新規活動はないが、本取り組みへの登録やその広報協力を粛々と行う。

補足：清水エスパルスが本キャンペーンの発足時登録メンバーとなっている。

9. 2011年度ナショナルトレセンコーチ [女子担当] の件

(協議) 資料No.3

2011年度のナショナルトレセンコーチ [女子担当] を別紙のとおりとしたい。

10. なでしこジャパン海外強化指定選手制度の件

2011年度の対象選手を、以下の4名としたい。

氏名：安藤 梢 (アンドウ コズエ)

所属チーム：FCR 2001 Duisburg (ドイツ女子ブンデスリーガ1部)

生年月日：1982/07/09 28歳

身長：164cm

体重：57kg

ポジション：FW

国際Aマッチ数：79

大会個人賞等：なし

(平成 21 年度第 10 回理事会にて指定選手として承認)

氏 名 : 山口 麻美 (ヤマグチ マミ)

所属チーム : Hammarby (スウェーデン女子リーグ)

*平成 22 年度はアメリカ WPS アトランタビート所属

生年月日 : 1986/08/13 24 歳

身 長 : 165cm

体 重 : 55kg

ポジション : MF

国際Aマッチ数 : 16

大会個人賞等 : 2008 年アメリカ大学サッカー年間最優秀選手賞

(平成 21 年度第 10 回理事会にて指定選手として承認)

氏 名 : 永里 優季 (ナガサト ユウキ)

所属チーム : 1. FFC Turbine Potsdam (ドイツ女子ブンデスリーガ 1 部)

生年月日 : 1987/07/15 23 歳

身 長 : 168cm

体 重 : 60kg

ポジション : FW

国際Aマッチ数 : 58

大会個人賞等 : なし

(平成 21 年度第 10 回理事会にて指定選手として承認)

氏 名 : 宇津木 瑠美 (ウツギ ルミ)

所属チーム : MONTPELLIER HSC (フランス女子リーグ)

生年月日 : 1988/12/05 22 歳

身 長 : 168cm

体 重 : 63kg

ポジション : MF

国際Aマッチ数 : 38

大会個人賞等 : なし

(平成 22 年度第 3 回理事会にて指定選手として承認)

なお、平成 21 年度第 10 回理事会にて指定選手として承認された澤穂稀、宮間あやの 2 名については国内リーグに復帰のため、継続なし。

※国際Aマッチ数は 2011 年 1 月 31 日時点のもの。